九州歯科大学

東京同窓会会誌

2001.6

NO.74

【九州歯科大学同窓会東京都支部会誌　第74号目次】

＜とびら＞ …… 家田隆弘 …… 2

＜論 壇＞

九歯大同窓会　過去・現在・将来

「田窪才祐前会長の功績と河野博之新会長への期待」…… 神代達司 …… 5

＜特 集＞私の小倉時代

高野眞太郎／塩路昌吾／米山和伸／白橋知幸／矢野正明／三宅正泰 …… 10

＜学 術＞寺下教授講演会報告

『生体である歯質とボンディングシステムとの接着』…… 假屋隆彦 …… 20

＜私の本棚から＞

書評「理系人間のための人生戦略」…… 播磨利彦 …… 22

書評「ジャズと生きる」…… 假屋隆彦 …… 23

＜新人紹介＞ …… 24

＜改めて自己紹介＞ …… 家田隆弘／市橋　晶／稲数文夫 …… 26

＜ふるさと大使＞ …… 家田隆弘 …… 30

＜私の診療室＞ …… 久保正明／島　秀樹 …… 32

●面白雑学 …… 31 / 42

●新年会 …… 37

●第14回東京都支部親睦ボウリング大会 …… 39

●東泉会だより …… 40

●支部旅行報告 …… 43

●ブロックだより …… 44

●告知板 …… 46

●会務報告 …… 47

●編集後記 …… 48

その昔，天下の朝日新聞の家庭欄に「中島らもの明るい悩み相談」というコラムがありました。ご記憶の方もいらっしゃるでしょう。

内容は，読者からの種々の悩み相談に中島らも氏が答えると言う至極真面目な体裁の連載記事でありました。しかしその悩みとやらの質問内容が，たいそうお間抜けなものであり，それに真摯に（？）答えている中島らも氏の回答とやらも，一段と，とぼけた内容でありました。

結構長く続いておりましたこの記事を，私は，密かに楽しみにしておりました。

面白かった名作（？）は，いくつもありますが，同窓会誌ということでもあり，われわれの仕事がらみネタをひとつ。

＜相談＞「人は歯を磨くとき，歯ブラシを持った手で上下左右と動かして歯を磨きます。しかし私の主人（40歳）は歯ブラシを持った手はそのままで，顔を上下左右と動かして歯を磨いています。このような主人はおかしいのでしょうか。そして，そんな磨き方で歯がきれいになるのでしょうか。（多治見市・デンターワイフ）」

いかがでしょうか？　この至極真面目な，ある意味で深い悩みに直面している主婦に，皆様方の回答や如何？

しかし，こんな相談はまだかわいいものです。先日インターネットで，ある精神科医師のホームページ上「医学都市伝説」と称する一連のエッセイの中で，大変興味深い一文を目にしました。

以下ホームページより抜粋しながら話を進めます。

まず，この「某片田舎の官立大学を出て，現在千葉の弱小市中病院に勤務する（自称）」ホームページ作成者である某精神科医氏が、「医学都市伝説」と称するものは何かを説明しておりますので引用します。

「都市伝説というのは微妙な概念で、『デマ』『噂』『流行している小話，ジョーク』の要素を限りなく含みつつ，一部の人にとっては完全な事実として機能する，社会全般に非活字的に伝わるストーリーを指す。

日本で有名なものと言えば、『海外のブランドショップの試着室から誘拐される日本人新婚妻』『アラブで子供を交通事故で死なせた外交官の子供が，群集に引きずり出されて車でひき殺された』などという，ホラー系が知られている。荒唐無稽のようでどことなくありそうな内容、『友達の友達から聞いた』というのが普通の伝搬経路という特徴をもつのだが、『時代の不安』とでもいうものを巧みにとらえている面があり，なかなか興味を引かれるものだ。

医療業界というのは，この手の伝説の宝庫といえ，単純なものから手の込んだもの，十年一日の如く同一構造で繰り返されるものと様々だ。中にはご存じのものもあるだろうが，順不同に紹介していきたい。」

そして多数の「医学都市伝説」を披露しているのですが，その中のひとつを引用してみます。

「数年前に知り合いがある地方の特産物を送ってくれた際，詰め物に使ってあった地方新聞の『何でも相談室』という囲み記事にその謎の質問が投稿されていました。

曰く，私は40代の主婦なのだが，20代からたちの悪い痔疾に悩まされてきた。ここ何年かは痛みのためにまともな生活もできないほどで，人に言えない苦労を重ねてきた。近所に親しく付き合っている老婦人が居て，その人には悩みをうち明けていたのだが，深く同情してくれていた。その老婦人が脳卒中で余命幾ばくもなくなり，見舞いに行った私に言うには、『死んだら私の肛門を移植したらいい』という。家族も同意してくれ，程なくして亡くなったその老婦人の肛門を移植したのは良いのだが，新しい肛門のしまりが悪くいつも便失禁するようになり，かえって以前より生活がしにくくなってしまった。考えてみれば40以上も年上の人の肛門が使いものになるわけもなく，そんな肛門を提供したその老婦人の家族と手術した医者を訴えようと思うのだがどんなものだろうか。

それに対して，弁護士による回答は『老人の肛門の機能が悪いことは素人にだって予測できるのだから，同意をしたあなたにも非があり，提供者を訴える事は無理。手術をした専門家の責任は問えるだろう』というもの。

言うまでもなく肛門移植なんか出来るわけがなく（皮膚，腸管，末梢神経，括約筋群などおよそ無理な移植を同時にクリアしないといけない。しかもこの話では適合性も調べずに死体から移植するということになってる）この相談は事実であるはずがないのですが，一応定期的に発行されている地方新聞の相談コーナーに堂々と取り上げられていたのが不思議。まさかあの『何でも相談室』自体が，一種の不条理笑い話欄だった，ということはないだろうし……」

新聞に掲載されていることだからといって，すべてが事実であるとは限らないことは，賢明なる我が同窓ＯＢ諸先生方は先刻ご承知でしょう。しかしながら簡単に裏が取れないことがほとんどと言ってよい現実の前で，私なんぞ簡単に信じてしまう人間であることを，再確認いたしております。お恥ずかしい。

でも面白いでしょ？

家田隆弘（大32）

論　壇

九歯大同窓会　過去・現在・将来

田窪才祐前会長の功績と河野博之新会長への期待

神代達司（大６）

～はじめに～

熊本県の西山九歯大同窓会会長が病気で亡くなられた後を受け，平成元年４月愛媛県の田窪才祐先生が九州歯科大学同窓会の会長に選出されました。田窪才祐先生は県立３期の卒業で，母校を卒業後，東京医科歯科大学の研究室に籍を置かれて勉強された後，郷里の愛媛に帰られて愛媛県松山市にある日本赤十字社病院歯科口腔外科部長として永らく勤務され，その後開業されたという研究者であり，医学者だと言えます。

平成13年４月15日に開催された平成12年度の九歯大同窓会評議員会において，田窪才祐同窓会会長は，会長職辞任を表明されました。それを受けて評議員会で後任の同窓会会長に福岡県の河野博之先生を新会長に選出しました。

河野博之先生は大学５期の卒業で，現在福岡県歯科医師会の会長の他に，日本歯科医師連盟第一副会長及び九州地区歯科医師会連合会会長も兼務されているという，まさに超多忙な先生であります。

そこで，ここでは田窪才祐前会長の会長職としての12年間の凝縮された多くの会務執行に関わる業績について述べ，田窪会長の大英断によって大改革を実行しその結果，歯科界にあって九歯大同窓会の存在を不動のものにした数多くの業績のごく一部をご紹介し，同時に新しい世紀の初頭にあたって，河野新会長の時代にマッチした九歯大同窓会作りと，河野会長のリーダーシップに期待する心情を述べてみたいと思います。

九歯大同窓会の基本理念は「和の精神」だ

平成元年４月に同窓会会長に就任された田窪才祐前会長は就任の挨拶の中で「九州歯科大学同窓会の組織としてのあり方」の基本理念として「同窓会会員の和」を強く訴えられ，歴史と伝統に輝く九歯大同窓会会員の団結と会務執行の活性化によって「日本一の歯科大学を，そして日本一の同窓会の構築を」と全

国の同窓会会員に呼びかけられました。そのための諸々の施策を企画実行され，多くの実績をあげてこられました。

次にその幾つかを紹介しましょう。

（1）弱小同窓会からの脱却

同窓会会員4176名という小さな組織，然も同窓会事業の予算規模もごく小さなもので，とても86年の歴史に輝く同窓会とは思えない弱小の九歯大同窓会を全国でもトップレベルの同窓会として位置づけた田窪前会長の手腕は高く評価されなければなりません。それにより田窪前会長の存在は全国歯科大学・歯学部同窓会・校友会の中でも重要視され，その結果，九歯大同窓会の発言力も増し行動力も注目され，私ども会務執行にあたって大変好都合だったと言えます。

（2）会員の意識の変革のため全国行脚

全国各地の九歯大同窓会支部を万遍なく巡り，直接同窓会会員と膝を交えて同窓会本部に対する意見や不満に耳を傾け，可能な限り同窓会会務執行に反映させるという実行力はすばらしく，その結果同窓会に対する会員の意識の改革をなし得たと思います。つまり全く無関心だった会員の顔を同窓会に向けさせ，会員としての自覚と会務に対して積極的参加をみるようになったと言えます。

（3）母校改築に全力を傾注

同窓会の事業の第１に，県立大学としての母校学舎の改築を挙げ，そのために母校学長と協力して福岡県知事や県当局及び福岡県議会の有力議員に対して強力な改築のための働きかけを行ってきました。県財政が全く逼迫している現在，改築工事が大幅に遅れていることを考えると，今後はよほど思いきったアプローチをしなければ見通しは前途多難だと言えましょう。

（4）学術を事業の前面に

同窓会事業の第２に学術研修や講演の実施を積極的に行ったことです。

Ⓐ同窓会の事業予算の中から「臨学一体」のテーゼのもと，研究テーマを選択し研究内容をチェックしたうえ，同窓会から大学研究者に対して研究費を提供しています。テーマについては，開業医である同窓会会員が日常診療に実際役立つものが最優先するとしています。

Ⓑ学術研修会や講演会は主として母校所在地の福岡県で開催されてきましたが，北から南まで全国同窓会会員はどこにいても平等に恩恵を受けるべきだとの多くの意見を重視し全国の地区連合会の力を借りて，九歯大同窓会本部の「冠（かんむり）」をかかげて全国各地で開催するという画期的な事業を実施して全国の会員に大変好評を得ております。

しかも，この全国各地で開催される学術講演会は，九歯大同窓会会員及び家族，従業員は勿論のこと他大学卒業者にも積極的に参加されるように呼びかけるという「オープンシステムの学術講演会」であり，これは他に類をみない特色だと言えます。

「九歯大同窓会は常に開かれた同窓会」だと訴えております。

（5）「リーフの会」の創設

九歯大8351名の卒業者の内，現存者は6450名ですが，同窓会会員は4176名で，2274名は未加入者だと考えられています。

しかも大学卒業者5351名の内，同窓会入会者数は3471名，未加入者1633名という数字は無視するわけにはまいりません。

したがって若い世代の卒業者で未入会の1633名の方々に一人でも多く九歯大同窓会に入会していただき，組織の充実と活性化を図るための画期的な事業として「リーフの会」を創設しました。特に女性卒業者をターゲットに入会の勧誘を目的とするものであり，発足してまだ２年という短いものですが，かなりの成果をあげているようで，将来が楽しみであります。

（6）会員は皆平等であるはず

本来，九歯大同窓会会員は，入会金も会費も皆同一であります。勿論高齢会員や病気疾病の会員及び勤務会員に対しては金額的差異はありますが，地域による差異はありません。しかし同窓会地区連合会や評議員の数，さらに役員の選定に関しては地域格差があるのは事実であります。

「会員の権利・義務は平等である」との原理原則を確立することによって，新しい時代に適合した九歯大同窓会が構築されると言えます。

平成12年度九歯大同窓会評議員会において可決された会則の一部改正の内容をみると，各地の同窓会支部を都道府県同窓会とし，支部長を会長とする。都道府県同窓会の上に地区連合会があり，その上に九歯大同窓会本部があるという組織図であります。

また，福岡県内の地区連合会を整理統合し，一つの連合会にするという思いきった改正であります。その他役員や評議員の数の整理統合も決められております。大いに今後の改革の結果が期待されるものであります。

（7）陽の当たらない会員に本部の手を

全国各地の九歯大同窓会会員に対する本部の支援と擁護をいかにするかが問題であります。

元来，歯科医師会と同窓会とは全く次元の異なったものであります。しかし，現実に目を向けると，全国の歯科医師会の人事面において各大学同窓会校友会の介入は想像以上に強力であり，その影響力は計り知れないほど大きいと言われております。

このような同窓会の歯科医師会に対する介入は全く間違ったものであり，歯科医師会の会員の意識を無視した前時代的な暴挙だと言わざるを得ません。しかし，残念ながら全国

各地の歯科医師会をみる時，その愚挙は殆どの歯科医師会で認められています。学閥支配からの脱却は近い将来必ず実行されなければなりませんが，その過度期の現在，同窓会本部としていかなる施策を講ずべきかを考える時期でしょう。

九歯大同窓会員の多い九州各県や山口県はともかくとして，九歯大同窓会員の比較的少ない各都道府県歯科医師会に対して，九歯大同窓会本部として人事面での不平等のない会務執行をお願いしてきましたが，この学閥の壁は大変厚く，特に東京都歯科医師会における役員人事はまさに差別人事そのものだと言えましょう。

以上の事項は田窪才祐前会長が過去から現在まで，12年間に実施してきた会務のごく一部です。これらは大変重要なことであり，河野新会長による会務執行に是非継続していただきたい案件であります。

新しい世紀の幕開けに際し
河野博之同窓会会長に期待するもの

平成13年４月15日開催された平成12年度九歯大同窓会評議員会において，大学５期の河野博之先生が九歯大同窓会会長に満場一致で選出されました。

21世紀にふさわしい，つまり新しい時代の幕開けを思わせる飛躍的前進と内容の充実した九州歯科大学同窓会の構築を，全国の会員は等しく期待しているはずであります。

（１）前執行部からの引き継ぎ事業を着実に

Ⓐ 会則一部改正の着実な実行をすることにより，全国の同窓会会員は，河野執行体勢の執行に対して大変な関心と注目をすることと思います。従って，着実に引き継ぎ執行することで，大いなる安心を抱くことでしょう。

反面，そのことで福岡県内の同窓会員から大変な抵抗があることもまた事実でしょう。そのための勇気を求められていると思います。

Ⓑ「リーフの会」会員の九歯大同窓会入会促進をするべきだと思います。ただし，その際に，地区の都道府県同窓会や地区連に入会のうえ本部会員入会という手続きを踏まれるように，河野会長名で改めてお願いすべきだと思います。

Ⓒ 全国各地で開催予定の学術講習会（研修会）の開催と講習内容の開示を徹底し，同時に詳細に報告することだと思います。

（２）本部から全国の歯科医師会に対して
アプローチを

東京都歯科医師会では，つい１～２年前まで，東京の４歯科大学・歯学部出身の歯科医師会員以外から理事者や各種委員に選出されることは皆無でありました。全国で最も保守的というのでしょうか，遅れているのが東京都歯科医師会ですが，全国各地でもこのようなケースは多いと思います。

本来同窓会が歯科医師会の人事に介入すべきではありませんが，正しい歯科医師会への過度期の一つの便法として，九歯大同窓会河野博之会長の強力なリーダーシップと働きかけをお願いするものであります。

（３）全国レベルに足場を置いた同窓会に

九歯大同窓会本部の位置が福岡にあるため，事業の場も出動する人材も福岡に偏重するのはいたしかたないことかもしれません。しかし，全国の会員にとっては理事会や同窓会の役務のためには時間も金銭的デメリットも覚悟で参加したいとの意欲があるわけで，その尊い意志を少しでも尊重していただいて，可能な限り全国レベルの視野で会員の登用をお願いしたいものです。

また，河野博之会長は大変多忙な毎日とは思いますが，全国各地の同窓会の会合に，会長として出席していただきたいものです。全国行脚とは申しませんが，地区連合会の会合には是非出席していただきたいと思っております。

（４）今こそ歯科医師会の認識と実践を

歯科界の前途に明るい展望のない時，歯科医師会が如何なる組織でなければならないかを真摯に思索すべきでしょう。

その最も望まれることは，歯科医師会の人事はそれぞれの歯科医師会に所属している会員の意志により決定されることが絶対条件でなければならないと思います。

歯科医師会会員の意志や存在を無視した，同窓会レベルで決定される歯科医師会人事を実行している間は日本の歯科界の透明性はゼロであり，次の世代に誇りをもって引き渡せる歯科医療の構築を望むことさえ不可能なことだと言えます。

弱小ながら鋭い切れ味を持つ九歯大同窓会の新しい会長として，河野博之会長とその執行部のリーダーシップを歯科界が注視していることは必定だと思います。

●特集●

私の小倉時代（その4）

テニス熱中時代

高野眞太郎（大12）

私の小倉時代は40年も前の話である。正確ではないが，いろいろなことが思い出される。ゴルフのライバル末森君（大16）に，いつもひやかされるのだが，今では数少ない村のひとつ，福岡県新吉富村出身の私にとっては，小倉は大都会であった。小倉市日明の姉宅に下宿して，西鉄電車による通学生活が始まった。当時八幡製鉄全盛で，煤煙が降りそそぐ，うす汚れた町であったが，北九州には活気があった。

進学課程は，新築されたばかりで，丘の上にあり，毎日坂道を往復した。クラブ活動は軟式テニス部に入部し，テニスに熱中していた。最初に直面したのが，前期の試験である。部の先輩達に「試験など大したことがない。」などと言われ，真に受けて，あまり勉強もせず，テニスをやりながら，受けた結果，見事に多く赤点をとり，追試でなんとかクリアした。その後はそれなりに準備をし，無事進学課程を修了することができた。同級生が10数名落第したのには驚いた。

専門課程に進み，教室はまた出来たばかりの新校舎である。下宿も大学の横にある寺島寮に移った。寮には，テニス部の先輩や，同級生もいて，楽しく過ごせた。食事は毎日学食になり，今では珍重なクジラのテキは思い出の一品である。テニスでは，よく東京方面に遠征した。九歯大は強く，試合ではあまり負けなかった。しかし，遠征での一番の思い出は，お金がないため，急行列車で，しかもお盆等が重なると，座席もなく，通路や洗面所で一夜をあかし，ＳＬの煤煙で汚れて，23時間程かけ上京したことである。それでも，テニス部員で名古屋の外畑さん（大11），岐阜の同級荒井君達にお世話になって，名古屋見物したり鵜飼を見に行ったり，御馳走になったりと，大変楽しいことも多かった。

いよいよ最終学年になり，病院での臨床実習が始まった。ほとんど患者に接することもなく，見学主体であったが、無事卒業できた。お世話になった，多くの人達に感謝しつつ，私の小倉時代は終わりをつげた。

エンジョイ！学生時代

塩路昌吾（大14）

九歯大、学生時代の思い出との事ですが，ボールペンを取ってみると，35年前の遠い昔の懐かしい出来事が回り灯籠のように一つひとつが輝いて見えてきました。

誰もが味わった入学時の解放感を充分に楽しんでいた時代。そんな中で，心にも落ち着きが戻って来た頃です。驚かされた二つの情報が入ってきました。一つは春の同好会の予算分捕り合戦の話し合い中，出刃包丁が飛んだというあまりにも積極的なお話。もう一つは，秋の文化祭で伝統の神輿かつぎで町に繰り出し，ついには井筒屋デパートの特大ガラスを破壊，弁償代の大きさに驚き，今日に至るまで再開していないこと，大変な先輩達が在籍しているものだと感心したものでした。

しかし，その後，様々な場所で先輩，後輩，諸氏には大変お世話になっており，会う機会があれば，気の置けない仲間であり楽しい一時を過ごしています。特に一昨年，東京支部で東歯大の井上助教授，武田先生と共に「インプラントは安全な治療法になりえたか」のシンポジウムに出させて頂き，勉強させてもらいました。大川支部長はじめ同窓の先生には心より感謝しています。

居心地良い学生時代でありました。中でも物価は安く，学食は朝は御飯と味噌汁，お新香で20円，昼夜は一品付いて各々40円，１日３食で100円は助かりました。ちなみに卒業後，東京医科歯科大学に残って，初めて生協でお昼のお弁当を利用した折，１食100円をオーバーして高いと感じました。

学生時代印象に残った言葉に，入学当時，大島君（神奈川県開業）との出会いがあります。彼は頭もよく，真面目でラグビー部に所属して一所懸命にやっていました。現在，日本歯科医師会で委員に任命されて，大活躍中ですが，その彼から「学生時代をエンジョイしましょ，エンジョイしましょ」と真面目学生から言われて頭に印象深く残りました。私がその時，その時を努力する折，時々思い出す言葉です。大島先生，生涯エンジョイしていますか‼

また，当時，息のあった仲の良いグループができ，名前を誰言うともなく『親歯会』と呼ぶようになっていました。やはり楽しく学生時代を過ごそうというもので，一緒に旅行したり，試験中では協力したりと気の合った同士の集まりでした。

写真は20歳の時の親歯会で仲間を募って，山口県の安岡に２～３日の予定で海水浴に出かけた時の一コマです。昨日まで玉屋デパートの女性グループが泊まっていたという話も

聞かされ，そんな夢のような出会いもあるかと期待しましたが，勿論，何も起こる事なく，真っ赤に日焼けして帰りました。

皆の顔がたいそう楽しそうでしたので選ばせてもらいました。

就職の心配のいらない，心豊かに時間を費やした，輝いていた学生時代でした。

昭和36年（1961）写真右より
瀬尾義一郎：九歯大14期，福岡県歯科医師会広報担当
桑野　映　：ネパールでボランティア活動
尾野敏浩　：元宗像歯科医師会会長
塩路昌吾　：体重52kgは現在も変わっていない。肩甲骨に水を溜めて孫に喜ばれている。
　　日本口腔インプラント学会認定医，指導医
津田武明　：福岡県国保審査会
徳永憲一　：日本歯周病学会認定医
瓜生　隆　：前宗像歯科医師会会長
浮須東洋男：九歯大文芸同好会の創始者14期会長

団塊世代の小倉時代

米山和伸（大23）

●団塊世代の研修旅行

小生が入学した昭和44年（1969年）頃の学生は，戦後ベビーブームの昭和22～25年頃に生まれた人達で，いわゆる「団塊の世代」であった。

大学進学希望者の急増に伴って，入学試験の倍率も高く，医学・歯学部系では10倍，20倍などはざらで，東京医科歯科大学歯学部の入試倍率が確か40倍位であったと記憶している。従って生き延びるためには何か他人と違ったことをする必要があった。よく言えば独創的，悪く言えば目立ちたがり屋が多かった。

さて，当時入学直後に進学課程の１，２年生で研修旅行というのがあった。何の「研修」かというと，要するに２年生が新入生に酒の飲み方を徹底的に鍛える研修である。小生もクラブの先輩から「薩摩白波のサントリーレッド割り」なるものをご馳走していただいた。脳天を一撃したあの味は一生忘れない。

しこたま飲まされた後のファイヤーストームでは，10人ずつ程で編成された班対抗の演芸大会があった。小生の班の担任は物理の山崎教授であった。

「白波のレッド割り」の洗礼を受けた後であるから，羞恥心と記憶が完璧にない中でさぞひどい芸かと思いきや，そこはやはり独創の「団塊の世代」，素人とは思えない見事な芸が飛び出した。中でもぴか一だったのは，ラグビー部で一緒になり，今でも親友の千葉県支部Ｏ先生が演じた「天皇陛下」。小生の結婚式にも無理に頼んで演じていただいた。

学生に負けず気合の入った体育学教授・山本征治先生（当時講師）演ずる「エッサッサ」

入学直後の研修旅行。「薩摩白波のサントリーレッド割り」痛飲後，班別での大演会芸大会。小生の演目は「拙者も武士」

●多幸のおじちゃん，おばちゃん

小生の学生時代は文字通り九州体育大学ラグビー学部歯学同好会の生活であり，授業中はただボーッとしているだけ。放課後は毎日練習で，シーズン中は土・日曜日に試合。シーズンオフも体を動かすだけ。今の学生のようにインターネットなどあるわけもなく，下宿には電話，風呂さえなかった。勿論彼女など無縁。結局なんだかんだで誰かの下宿に屯して一杯。

酔うことはできても酒だけでは腹が膨れず，どこかで飯を食うわけであるが，こんな生活だから仕送りは月のはじめでなくなってしまう。となると世話になるのは「ツケ」。月に１～２度位ならば歯科大の学生ということで大目に見てくれるだろうが，度重なればそうもいかない。

ところがそんな超マル貧の学生の面倒を見て下さる奇特な方がおられた。大学のすぐ側で「多幸」というお店を営んでおられた石田さんご夫婦である。

店はほとんどおばちゃん一人で切り盛りしておられ，時々おじちゃんが顔を見せにこられていた。20年程前に閉店されたので今はない。おじちゃんは先年他界されたが，おばちゃんはご健在である。

とにかくよく飲ませていただいたし，よく食べさせていただいた。そして何よりもよくツケさせていただいた。このご夫婦に世話になった同窓の方は大勢おられるだろう。ただ当たり前のことではあるが，ツケを踏み倒す学生はいなかったように思う。小生も夏，春，冬の休みにバイトしてはせっせと返し，卒業の時にかなりの額を親に借りて返すという精一杯の努力をした。

小生が卒業の時に返したツケの分で，カラーテレビを買われたとのことだ。大牟田のＮ先生の返金分でクーラーを買われたとのことだし，千葉のＯ先生の返金分で店の一部改装ができたとも伺っている。

とにかく小倉に足を向けては寝られない。世話になった多くの先生方がなんらかの感謝の気持で一杯だ。小生もおばちゃんだけだが結婚式に東京までお呼びさせていただいた。

ありがとう，「多幸」のおじちゃん，おばちゃん。

恩師，先輩，後輩が大勢参加して下さった追出しコンパ。
「多幸」のおじちゃん（故人），おばちゃんも来賓としてご列席（前列右端の２人）

貴重な青春時代

白橋知幸（大25）

昭和46年（1971年），私は九州歯科大学へ入学した。

昭和27年（1952年），若松市で生まれ２歳のときに門司市に引っ越した。それから門司の小・中・高校を経て大学を卒業するまで24年間ずっと北九州で過ごしたことになる。

北九州，今遠くから思えば，海があり，山もあり，川も，自然が身近にあり，四季もしっかりしていて，情緒的にはとても良い環境で育ったと思っている。特に，悲しいとき，気分が落ち込んだときなど，関門海峡の潮の流れをずっと眺めているとずいぶん心が和んだものであった。

高校時代は，風紀指導が厳しく喫茶店にも映画にもいけない状態であった。当然，禁酒，禁煙，禁…，女性（同級生）と口を利くのは不埒な奴だと頑なに信じ，教諭に至っては大学に入るまで何を紐で縛って我慢しろだとか。

打って変わり，進学課程は天国のような生活であった。担当の故高畠教授は，開口一番「君達はもう立派な大人ですから」と同じ目線で紳士的に接していただき大変感激をした。

進学で休講があったとき，急いで魚町のパチンコ屋に出かけたり，友達の下宿に遊びに行ったり，今までと打って変わった生活で，今までがんじがらめに束縛されていた（自分で束縛していたのかも）ものが急に解放され，有り余る時間をどのように過ごしていいのやら，毎日の受験勉強から解放されもう参考書を開かなくてもいい，夜中まで勉強しなくてもいい，喫茶店にも自由に入れるし，煙草も覚えたし，酒も堂々と飲める，誰も文句は言わない。

きっと刑務所から釈放されたらこういう気分になるのだろうか。何をやっても自由，そんな毎日であった。

私の小倉時代は，今までの人生の中でとても貴重な時間であった。友達，恋愛，勉強，テニス，旅行，多くの楽しい思い出でいっぱいだ。できることなら小倉の大学時代に戻って，まるっきり同じ経験でもいいからもう一度やってみたい。

学生時代の白橋先生（右端）

学生自治会で……

矢野正明（大27）

みなさん，校歌の３番とか４番とかご存じですか。私も体育会系ですから，宴会の後に校歌斉唱となれば「花三春の～」と大声を張り上げるほうですが，実は２番までしか知りません。同窓会の資料で見ると，４番「いざやいざいざ共に／千古不滅の自治の城／まもるはわれら努むるも／又われらなりいざ励め」とあります。今回は「自治」について書いてみたいと思います。

大学紛争というか，東大安田講堂の「攻防戦」などが終わった後に私は大学生になりました。当時東京の大学にいた方に聞くと，やはりすごかったようですね。授業そっちのけで飛び回っていたようです。私より若い世代でも大学生に紛れ込んでいたような話をしています。私が九歯大に入学したときは，ちょうど福歯大設立に対するストライキなど紛争がひときりついたところでした。進学２年のとき，自治会選挙がありました。だいたい，学部３年を中心にした執行部が選出されるようですが，このときは運動の疲れからか，立候補される方がなく，このままではいけないと役員に立候補することになりました。選挙の結果，23期の加藤先生が委員長，25期の小南先生が副委員長，27期の私が書記長となりました。

学生自治会でどんなことをやっていたか，今は昔のことであまり思い出せません。部室棟の２階にあった自治会室に毎日顔を出してはビラを作ったりしていました。ワープロとかパソコンとか出現する前ですから，手書きの原稿を輪転機で印刷していました。そのうち，和文タイプライターを購入して，少しは見やすいものになったと思います。

体育館建設が計画されているころで，県庁に交渉に行ったり，県議会へ請願に行ったりしました。県立３大学の共闘で福岡でデモ行進をしたような記憶もあります。福岡女子大学のほうが元気がよかったように思います。

東京でデンタルが開催された年でしたので，新しく作ったブルーの自治会旗を持って各会場を応援にまわりました。体育祭のときも進学の屋上に自治会旗を掲揚していました。このときの体育祭ではなかったかしらん，米山先生の記憶がなくなったのは？　私も各学年の教室をあいさつに回って酔いつぶれたように思います。

学生自治会での経験が，何か役に立っているかと言われると，よくわかりません。でも、「長い物には巻かれろ」という考え方ではやっていけない時代になっています。国であれ，地方自治体であれ，歯科医師会であれ、「ダメなものはダメ」といっていく必要があります。

今も保険医協会の一員として，都庁交渉や都庁包囲人間の鎖の運動に参加しています。歯医者の仲間内で飲みながら「患者が来ない，困った，困った」と言っていても何も始まりません。「まもるはわれら，努むるもわれら」なのであります。

サッカー部時代の写真。雨上がりの試合でみんな泥んこですが，一番下手でボールが来るのが恐かった矢野選手のユニフォームはほとんど汚れていません。後列左から３番目が私。

ひと昔の小倉時代

三宅正泰（大39）

私共も本年で卒後10年を迎えました。10年ひと昔と申しますが，真にその意味を実感しております。

私共の入学した昭和60年。世はバブル最盛期。平成３年の卒業時にはそのバブルも終焉を迎え，いわゆる失われた10年の始まりでもありました。

入学当時，街には路面電車が走り，駅前は後にバブルの遺産となる，そごうデパートなどなく，西鉄バスターミナルであった。

合コンと言えば「祇園太鼓の前」。駅ビルなどなく，改札を抜ければそれは眼前に確かにあった。

在学中には，新日鉄の溶鉱炉の火は消え，スペースワールドなるテーマパークができたが，その集客力や周知の通りである。また，地元福岡に，西鉄以来のプロ野球球団が誘致され，田淵監督のもと，近鉄野茂との試合を，小倉球場で観戦したことは，昨日のことのように甦る。

学生時代在籍したラグビー部は，毎日進学グランドで練習が行われた。流した汗，涙については筆舌に尽くし難く，酒席にまつわる逸話を語れば，枚挙にいとまがない。ただ，ラグビーを通じて知り得た様々な人たちは，今の自分にはかけがえのない存在となっていることは確かである。

体育祭での応援団・学園祭での宴会の店。それらは，私に愛校心をくれた。

そして，この小倉の地で妻と出会い，今では５人の家族が，充実した日々を送っている。

小倉の，そして真鶴に残した足跡は，決して誉められるようなものではないが，自分の中では決して欠く事の，そして忘れる事のできない確かなものである。

九州歯科大学がさらに発展することを祈って止まない。

ラグビーの仲間はかけがえのない生涯の友

体育祭での雄姿？

学園祭の宴会の店

学　術

『生体である歯質とボンディングシステムとの接着』

寺下正道先生講演会抄録（H13.3.3）

学術担当理事　假屋隆彦（大36）

講演会報告

講演内容）『生体である歯質とボンディングシステムとの接着』
講　　師）九州歯科大学歯科保存学第１講座
　　教授　寺下正道先生
主　　催）関東地区連合会・東京都支部　共催
日　　時）平成13年３月３日
　　15：00～
場　　所）ホテルグランドヒル市ヶ谷会議室にて開催

■ボンディングシステム

現在のボンディングシステムは第三世代の延長上にある。

米国での主流はwet bonding system（3Mシングルボンド　等）である。しかしながら術者の修術度合いによって経過の良否にバラツキがでやすい。そして3Mシングルボンドの取扱説明書は、誤解しやすい記述になっているので注意が必要である。エッチャント処理後の水分は綿球で拭き取る程度（blot dry）であり、bonding剤は１回目を確実に乾燥させることが大切である（primerの役目）。２回目の塗布はbonding材の役目をする。そしてスメア層を傷つけるのでブラシは使用せずにスポンジを使用する。

日本での主流はself-etching primer systemである。これは作用時間は長めが良く、30秒程度がよい。そしてポイントは液の量を多くすることである。液を窩洞に塗布するだけでなく、新鮮な液に触れさすため少し動かすと良い。

講演中の寺下正道先生

満席の講演会会場

レジン修復後の歯髄壊死の原因はレジンの刺激によるものでなく、辺縁漏洩によるというのが現在では一致した見解である。しかし、superbondはレジン系の材料としては細胞毒性が小さいが、他の材料と比較すると歯髄に悪影響を与えている。すなわち、レジン系材料の刺激は無視できない。

■グラスアイオノマーセメント

従来型グラスアイオノマーセメントは歯質、金属とも接着力は強いが、セメント自体が脆くセメント層内部で破壊される。

モディファイドグラスアイオノマーセメントは、レジンによってセメントの強度を増したものである。ここで大切なことは、接着強度を充分に発揮するためには必ず、歯面処理することである。デンティンコンディショナーは窩洞に擦りながら作用させることが絶対条件である。グラスアイオノマーセメントの接着力は、液成分に依存するため、練和した後セメント表面に光沢がある状態で窩洞に充填し、圧をかけて硬化させなければならない。そして現在、コンポマー（ビバデント、コンポグラス、3M F2000コンポマー等）はレジン材料であると考えられる。

■充填用レジン

◎前歯部

窩洞形成はフリーエナメルは残し、ベベルは付けられるところだけ付与することが、必要である。光照射は重合収縮を考慮し、窩壁のようにレジンと接している部分が最初に重合するような方向から光照射するとコントラクションギャップを小さくできる。そして、充填したレジン表面には、透明なウェッジとマトリックスを於いて酸素を遮断することが大切であり、研磨は１週間後とする。なぜなら、当日研磨はレジンに応力を加えることになり、辺縁封鎖性が低下するからである。

◎臼歯部

小窩裂溝はエナメル窩洞にし、ベベルは象牙質まで達した部分のみ付与することが大切である。レジン表面には薄いフィルム（スーパーで野菜を入れる袋を適当な大きさに切ったもの）を介し、噛ませた状態で光重合させるとよい。前歯部と同様、研磨は１週間後にするのが良い。

■合着用レジン

シランカップリング材は製造後２年以内のものを使用することが大切である。NASAの技術から応用されたものである。

講演後の懇親会

理系人間のための人生戦略

著者・坪田一男（講談社）
播磨利彦（大15）

著者の坪田一男氏は、東京歯科大学市川総合病院の眼科教授。専門は角膜移植、近視手術及びドライアイ。理系人間の立場から明るく前向きに生きるための人生戦略，そのための「リフレミング」という表現を使っている。そのリフレミングというのに二つあって，一つ目は生物的な概念での「フレーム」ということだ。たとえば魚の鮎が目の前の机の上にあったとしたら，もはや「鮎」ではない。鮎という魚は，綺麗な小川に泳いでいてこそ「鮎」であり，「鮎」と呼べる。目の前にある食べられる鮎は「食べ物」であって，鮎ではない，生物的にいう「フレーム」だそうだ。

私が歯科医師として働いているときが，「歯科医師はりま」であり，無人島でいる私は，「歯科医師はりま」ではないという発想。もう一つが心の「フレーム」。事実は変えられないが，その人の心の持ちようで「解釈」は変えられる。誰かと待ち合わせしていて，相手が来ないとき，遅れるとき，いつ来るかなー，そろそろ来るかなと待っているのは疲れるもの。ちょっと考え方を変えて，喫茶店でコーヒーでも飲みながら本を読む，相手が遅れてくれたおかげで，たくさんの本が読めたと，思える気持になる感覚，その場でパッと発想を変えると人生に対して文句がなくなるということだ。そのような心持ちをしていれば，明るく，ゴキゲンに生きられる。

著者も自分自身医療に明るく取り組むことによって，患者さんをはじめとする周りの人も明るくなってほしいし，また明るくなる。患者さんに対応したときも，最初に会ったとき顔色が悪いけど何かなと心で診断しているけれど，その人と会話をしているうちに，得意の分野の話になるとイキイキしてきて，最初の顔色より良くなっていく。その人のその「フレーム」があるということだ，健康状態に関係していく。大切なことは自分の生き方を持つ，その生き方というのは，物事をどちらかといえばプラスに考えると世の中に対して不満はおこらない。自分の人生の満足度を変えられるのは自分自身だ。腹が立つからといって，いちいち怒っていたら自分自身が疲れるだけ。怒るか怒らないかも自分で決めることだ。これも「怒るような」フレームを持つかどうかにかかっている。「体にいいかどうか」という「フレーム」をもてば，何かについて怒ることは絶対ない。人生125歳まで生きられる，生きようとしている人は怒らないものだ。人に好かれるほうが生存確率も上がる。もちろんお世辞をいって努力をするのでなく，自由にやって好かれる。自由に振る舞っていながらも人から好かれる。なまじ一生懸命人に好かれようとするから，上手くいかないときに腹が立つ。「物は考えよう」というのが、「リフレミング」だ。

この書では、「生きていこう」と強く思わなくては駄目。「発想の転換と他人のせいにしないで生きる」「自由に生きつつ人に好かれる」「たくさん感動する人ほど長命」–解りゃするが，なかなか実行が伴わない。

ジャズと生きる

著者・穐吉俊子（岩波新書）
假屋隆彦（大36）

この本は，世界的に有名なジャズピアニスト穐吉敏子の自伝であります。

「ジャズと生きる」という表題でありますが，ジャズを知らない人でも興味深く読むことができると思います。彼女の苦しく厳しかった時代の経験談は読み進むうちに，「生きていく」ということはどういうことなのかを考えさせられる内容となっています。彼女は現在70歳です。ちょうど自分たちの親の世代であります。満州に生まれ，戦争，引き揚げを体験し，昭和31年に渡米を果たします。そして，結婚，出産，離婚，再婚と実生活でのさまざまなことを乗り越えながら，たゆまぬ努力でジャズピアニストとしての頂点にたちます。プロセスはかなり具体的に描写されており，特に，後半からのアメリカでの活動で，白人社会の壁や文化の違い，当時のジャズ界の様子など生き生きと読み手に伝わってきます。

毎日をどのように乗り切っていくかを考える時に多くのヒントを与えてくれる，私にとっては大切な一冊です。

新人紹介

〔氏名〕山下喜久（ヤマシタ　ヨシヒサ）
〔卒業回期〕大30期
〔出身地〕福岡県久留米市
〔出身高校〕福岡県立明善高校
〔九歯大時の所属クラブ〕ラグビー部
〔現在の住居，勤務先〕
住居：〒162-0056　新宿区若松町6-7-303
勤務先：〒101-8310 千代田区神田駿河台1-8-13 日本大学歯学部衛生学教室
〔家族構成〕妻１人，息子１人（中学２年生）
〔歯科医師になって思うこと〕これまで，あまり歯科医療に貢献できなかったことを反省しています。
〔歯科医師として特に意識していること，研究していること〕歯科疾患の予防法の確立を目指して研究を行っています。
〔東京について一言〕　通勤路以外はあまり馴染みがないのでよく分かりません。
〔休日や余暇の過ごし方〕　寝だめ。
〔良く行くお店〕上京してまだ半年のため，行きつけの店はありません。
〔最近見た雑誌，本，映画，スポーツなど〕
仕事に手一杯で余裕がありません。
〔最近，腹が立ったこと〕ズボンを新調したらウエストサイズが思いのほか大きかったこと。
〔現在，健康面で気をつけていること〕なるべく早足で歩くこと。
〔好きな言葉〕学問に王道なし。
〔その他〕特にありません。
〔同窓会に対する要望〕お手柔らかにお願いします。

新人紹介

〔氏名〕松岡伸弥（マツオカ　ノブヤ）
〔卒業回期〕大48期
〔出身地〕千葉県
〔出身高校〕県立船橋高校
〔九歯大時の所属クラブ〕硬式野球部
〔住居〕千葉県四街道市
〔勤務先〕丸ノ内センタービル歯科
〔家族構成〕父母と妹の４人家族
〔歯科医師になって思うこと〕体力勝負
〔歯科医師として特に意識していること，研究していること〕体を鍛えること
〔東京について一言〕　学習中
〔休日や余暇の過ごし方〕　家族サービス（実家から通勤しています）
〔良く行くお店〕とんかつ和幸（丸ノ内センタービル地下）
〔最近見た雑誌，本，映画，スポーツなど〕
「いつでも　会える」絵本です。泣きました，勤務先の待合室にて。
〔最近，嬉しかったこと〕素敵な先輩方に出会えたこと。
〔最近，腹が立ったこと〕毎日楽しくて，腹が立ったことはありません。
〔現在，健康面で気をつけていること〕１．歯をみがく　２．飲みすぎない
〔好きな言葉〕根性　気合い
〔その他，ありましたら〕お世話になります。よろしくお願いします。

改めて自己紹介（アイウエオ順）

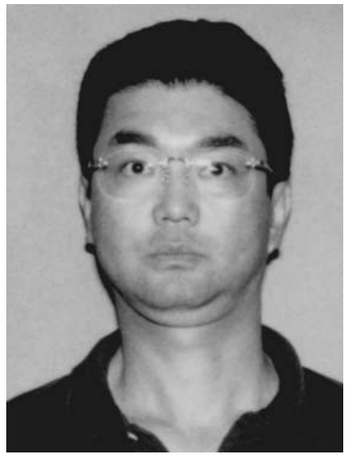
家田隆弘（大32期）

〔勤務先〕
品川区西大井
JR西大井駅前
イエダ歯科
〔出身地〕
三重県鳥羽市
鳥羽３丁目
〔九歯大時の所属クラブ〕
ROM（軽音楽部）太鼓担当
〔家族構成〕独身　以前は一度結婚していました。
〔現在お住まいの街名，一言あれば〕　城南に位置する品川区西大井です。大田区山王や馬込に隣接し，邸宅然とした雰囲気の中，惣菜屋さん・お豆腐屋さん等の商店街もあるという，大変良いところです。つまりは生活しやすいところです。
〔東京について一言〕　私は，音楽愛好家（どう表現してよいものか……つまり，大量のレコードとＣＤに囲まれて生活し，人々が寝静まった頃夜な夜なレコードをかける，バーでグダグダ飲んだり，おやじバンドを結成したりしている，局部嗜好追求型人間？）ですので，この東京という都市は，レコードを手に入れたり，生演奏を聞くには便利です。またたくさんの美術館・博物館の存在も有用です。しかし美術館内は，人が多すぎて絵が見れないこともあります（笑）。
〔歯科医業で特に力をいれていること〕極力削ったりせず，侵襲を少なくするようにしております。私が手を加えるとよけい悪くなるような気がして……（笑）
〔休日や余暇の過ごし方〕
①神社仏閣めぐり
　片手に「仏像の見方」「寺社建築の見方」などの小冊子を，もう片手には「朱印帖」を持って，暢気に一人で散策しております。
②遺跡・史跡めぐり
　片手に古代史の本，もう片手にカメラを持って，糸島・志賀島・高良神社周辺・神護石，はたまた奈良・東北等々，暢気に一人で散策しております。
③映画＆食事＆？
　片手にお金，もう片手に胃薬（？）を持って，呑気に友人と散策しております。
④近所を散歩
　片手に煙草，もう片手に小銭を持って，暢気に一人で散策しております。
⑤睡眠＆本＆テレビ
　ただひたすら「食う寝る読書」しております。
〔最近見た雑誌，本，映画，スポーツなど〕
①映画
『シンレッドライン』戦争映画の中では出色。
『大いなる遺産』人間ドラマ。
『ハリケーン』台風の映画ではありません。60年代の米国で，黒人差別のため無実の罪を着せられた黒人ボクサーチャンピオンとその周囲の人物を描いた，実話に基づく映画。因みにボブディランの「ハリケーン」はこのことを歌にしています。
『インサイダー』米国のフィリップモリス社が煙草の害で敗訴賠償するに至るきっかけとなった，研究者とニューステレビ製作者の内部告発事件に基づいた作品。家庭をも失いかける当事者の苦悩とその行動を描いています。いつもの如くアルパチーノは素晴らしい。
②本
『地球の落とし穴』（広瀬隆）
『日本人の法と正義』（NHK人間講座テキスト中坊公平）等々多くありますが，「私の本棚から」にも随時書かせてもらっています。本を読む時間の確保が難しいです。
③テレビ
『プロジェクトＸ』『そのとき歴史は動いた』『にんげんドキュメント』『スタジオパークから今日は』『小さな旅』等々ありますが，民放日曜朝の『真珠の小箱』やお昼の『パネルクイズ25』も良いですね。
④ＣＤ
『円生百席』（ＣＤ100枚50巻からなる三遊亭円生の決定版）清水の舞台から飛び降りるつもりで貯金はたいて買いました。円生はレーザーディスクでも20巻を私の宝物にしておりますが，素晴らしいです。
〔健康面で留意していること〕
①野菜を食べること
②ジョギング（週に２回を目標）
③水泳（週２回を目標）
④毎日楽しく生きること
　楽しく生きるために健康が必要であって，健康になるために生きているのではないと考え，何かあったら運命だから仕方がないと思っています。
〔最近，嬉しかったこと。または，腹が立ったこと〕　室生寺に行ってきたこと。奥の院まで歩き，良い運動になりました。五重塔の周囲の木々が，先の台風でなぎ倒された跡が今も散見されました。
　腹が立ったことは「デンタルダイアモンド」７月号「私の診療日記」に拙文を掲載していただきました。
〔近況を一言〕　「近況」という言葉を耳にすると，私はなぜか決まって「明治キンケイカレー」を思い出します。これは「パブロフの犬」現象の一例であると確信していますが，30年に渡り今も続いています。假屋先生のご尊父に診察していただこうかと悩んでいます（笑）。
　さて昔から言い古されていますが，一年があっという間に過ぎて行きます。「光陰矢の如し」「月日は百代の過客にして……」先達の言葉が少しは理解できる歳になったということでしょうか。これからも毎日毎日を大切に，時間を愛おしみながら，人と自然に感謝し，誠実に生きて行きたいものです。

市橋　晶（大36期）

〔勤務先〕
いちはし歯科医院
〔出身地〕
本籍神奈川県横浜市（生まれは福岡県飯塚市）
〔九歯大時の所属クラブ〕
サッカー部
〔家族構成〕身和（妻）
〔現在お住まいの街名，一言あれば〕
文京区本郷（都会のエアポケットという感じで住みよい所です）
〔東京について一言〕 色々な街の集合体
〔歯科医業で特に力をいれていること〕
予防歯科からインプラントまでが夢として目指すところです。
〔休日や余暇の過ごし方〕
サッカー観戦，競馬……あとはゴロゴロとしています。人混みが嫌い。混雑，行列が嫌いですので，出不精です。
〔最近見た雑誌，本，映画，スポーツなど〕
ハンニバル，トラフィック，映画はオールナイトのすいている映画館でと決めています。
〔健康面で留意していること〕
特にないままに過ごしてきましたが，体力の限界を感じ始めました。どうしたらいいのでしょう。どうにかしなければ。
〔最近，嬉しかったこと。または，腹が立ったこと〕
うーん，毎日，喜んだり，腹を立てたり…です。
〔近況を一言〕今日も元気です。心配アル，問題アル，デモ大丈夫で頑張ってます。

稲数文夫（大22期）



〔勤務先〕
いなかず歯科医院
〔出身地〕
北九州市小倉
〔九歯大時の所属クラブ〕
バレー部
〔家族構成〕
妻・礼子　長女・彩花　次女・梨花
〔現在お住まいの街名，一言あれば〕
東大和市　発展途上
〔東京について一言〕 騒々しさに慣れると住みやすい所。
〔歯科医業で特に力をいれていること〕
３年前からインプラントを始めて，最近では難症例にも挑戦している。
〔休日や余暇の過ごし方〕ゴルフ
〔最近見た雑誌，本，映画，スポーツなど〕
「イノベーターの条件」（Ｐ・Ｆ・ドラッカー著）
〔健康面で留意していること〕食べすぎないようにして体重をコントロールしている。
〔最近，嬉しかったこと。または，腹が立ったこと〕
長女が岡山大学歯学部に合格したこと。
〔近況を一言〕腰痛に苦しんでいる。

ふるさと自慢

家田隆弘（大32）

私の生まれたところは，三重県鳥羽市であります。日本列島のちょうど真ん中あたりとでも申しましょうか。

三重県と言いますと，紀伊半島の東の部分に坐し，北半分は伊勢湾に面し，南半分は太平洋に面した細長い形をしておりますが，鳥羽市の位置はと申しますと，そのちょうど真ん中あたりの突き出たあたりとイメージしていただければ，まず大きくはずしてはいません。

鳥羽市も人口３万を割り込み，生家のある町の中心部商店街は，かつては人の往来も多かったものですが，全国の地方都市商店街の地盤沈下同様，もはや，その面影を急速に失いつつあります。なんともさびしい限りですが，特に昨今は観光客の数も低下傾向となっており，市としても，対策に苦慮しているようです。

御木本幸吉氏による真珠養殖事業の成功により，「ミキモト」ブランドは世界的に有名となりましたが，その生家跡が近所にあり，よく囲いをこえて進入し，向かいの床屋のおやじから叱られたものです。また水族館ではただで入ってかくれんぼをした記憶があります。

さて，本稿は「ふるさと自慢」ということなので，とりあえず羅列してみます。

① 伊勢海老
② 的矢の無菌カキ・あわび・サザエ等
③ ミキモト真珠島
④ 鳥羽水族館

少し拡大して近隣の地域では，

⑤ 松坂肉
⑥ 伊勢神宮
⑦ 二見が浦　夫婦岩
⑧ 伊勢型紙（江戸小紋の元）
⑨ 赤福
⑩ 志摩観光ホテル
⑪ スペイン村

等々でしょうか。

有名どころはさておきまして，伊勢地方のお菓子の件ですが，私が好きなのは，やっぱ「二軒茶屋もち」でしょうか。なんといっても，周りについとる黄な粉が堪りません。

あと二見（ヶ浦）の駅から海水浴場への商店街を歩いて行くと，バスターミナル過ぎてすぐの左手にある酒饅頭屋。どうってことないようで，おいしい・飽きない・誠実……

いつまでもこのお店が続きますように願っております。

あ，それから鳥羽へ行ったら「東京軒」の中華そば…最高です。13時には売り切れてます。私は九州に７年いましたが，小倉の「丸和前ラーメン」と「東京軒」，これ以上のものを食べたことがありません。（いわゆる有名どころもたくさん行きましたが，この二つには及びません。）ここのご主人もご高齢なので，この味がいつまで存在するか心配です。

ぜひ皆さん，伊勢志摩鳥羽へ遊びにいかれてはいかがでしょうか。

東京からでしたら，新幹線で名古屋まで２時間，近鉄特急に乗り換えて１時間30分で鳥羽です。

面白雑学

「チチンプイプイ」を漢字で書くと……

昔から子供がちょっとケガをした時，母親が魔法をかけた。「チチンプイプイ，痛いの痛いの飛んで行けー」である。不思議に痛みが取れる気がしたものだ。ところで，この「チチンプイプイ」とは何語なのだろう。実はれっきとした日本語らしいのだ。いろいろ説はあるが，その中に「智仁武勇」がなまってチチンプイプイになったという説がある。「賢くて優しくて強く勇ましい」という意味だが，こう言われると，ちょっとやそっとの痛みで泣くわけにいかなくなる。江戸時代に出来たオマジナイであった。

私の診療室

開業半世紀でミラーを置く

久保正明（県１）

卒業と同時に，品川区にある歯科用品の材料メーカーで，技工士学校及び技巧所も経営する日本歯研工業KKの附属本院に勤務しました。東京歯科大学系列でしたが，偶然にも九歯専卒17期の故小宮山亮先生も本院におられたのは非常に幸いで，お世話になりました。

分院が品川駅前にあり，歯科医師の先生もたくさんおられました。院長のアメリカドクター・大塚豊美先生に，診療所の技工室で机を並べて，いろいろ手とり足とり，心からのご指導を受けました。

患者さんに接するには手抜きしないで，職業の自覚を持つようにとの，今でも心に残るお言葉をいただきました。

歯研工業は金属義歯床の製作もしていましたので，たくさんの模型が全国の開業医の先生から毎日送られてきて，それを会社の技工士さんが完成させるのを見る機会に恵まれたのは勉強になりました。

附属医院では義歯床の設計，釣の形態，当時でも外国製の陶歯の選択と排列咬合等をするのが仕事でした。患者さんは金属床が主で，ほとんど金床や金属床を診てきましたが，自分が開業してからは金床は格段の差異で，見たこともない状態の，情けない技工ばかりでした。

娘も歯医者ですが，娘から笑われるくらい義歯床技工が好きで，１日中でもいじくっていました。

昭和21年６月の開業ですが，当時は開業許可制でしたので，いろいろあって１年間許可が下りませんでした。これには困惑しました。歯研工業は厚生省に関係が深かったので，当時の事務長さんが東京都，厚生省に話を持って行ってくれましたが，どうにもならず，最後はGHQにまで行って，やっと許可が下りた次第です。

敗戦廃虚の街に，歯科医院の椅子だけが焼け残っていました。医院用の焼けた品物を修理する業者が品川にたくさん出来ました。その中から，現在大きな機械メーカーになっているのもあります。

現在の歯科医用機械は，焼けたら修理は無理だと思います。歯研工業の事務長さんから，モリタが戦時疎開させていた１台を買うことが出来ました。

卒業後は，開業するまでなにもかも大塚豊美先生のお世話になりました。

敗戦後の世の移り変わりは大変なものでした。昭和初期に福岡県飯塚市より上京し，長期間借りていた借地で，借家が焼失しなかったのと，当時は若年が幸運でした。

東京は昔から地方人の集まりで，90％以上が地方人で，江戸時代から居住している土地所有者の資産家で，昔の農家は10％以下だと思います。都会では，戦後，借地開放がありませんでしたので，現在でも銀座，新宿でさえも，借地が多いと言われています。昔の農家が先祖の土地を守る心は大変なものですが，限界がきたとき，相続税のために少しばかり売る物件を買うことができるのです。

処世に適応しやすい先生たちは賢明策を取っておられると思いますが，何が起きてもよいように，心配のない危機管理をしておくことが必要だと思っています。

現在は，開業は届出制で制限がないので仕方がないことですが，あまりにも過剰で，行き先が案じられます。大戦時にお国の見通しの甘さが歯科界にも及んでいます。歯科界では30年前より判っていた狂乱時代だと思っています。

最近つくづく想うことは，東京では男児一生の仕事が家一軒とはと，残念です。それさえも不可能で，マンションになってきています。一生の間には，少ないが必ず幸運が来ますので，その時を逃さないで，しっかりつか

40年位昔，同窓会の役員旅行で出かけた伊豆の修善寺温泉で。
左から私，倉治，堀内，穂坂，藤林，椎原，酒井各先生の若々しいお顔が懐かしい‼

まえるように願っています。

52年と半年間，自由が丘の住宅地と商業地の境で，ダラダラ坂の途中で開業していましたが，必ずしも良好な場所ではありませんでした。歯医者が年をとると，患者もそれにつれて年を重ねまして，登り坂を上がってでも診療所に来るという患者さんが最初に脱落しました。そして駅の近くに，大型診療所が最新医療設備で豪華な開業をすると，若い人が来なくなりました。残ったのは，頼りにされるが苦労が多くて技術困難なお得意様の老人ばかりでした。

後継者が一緒でしたら話は全く違うと思いますが，歯科医の娘を嫁がせましたので，早めに廃院しました。当時77歳と６カ月でした。

幸いにも娘婿が駅のそばに開業して15年位経っていましたので，長い年月来院された患者さんには，迷惑をかけないでやめることが出来ました。やめる２～３年前から，近いうちに廃止するから娘婿の診療所に行くように頼みました。婿が，困難な治療等は自分がやって，それが終わって易しくなった患者さんを返すと言ってくれましたが，性格としてそれは断ってしまった次第です。

サラリーマンと違って自営の医業ですので，会社の都合や定年でやめる心配はないのですが，歯医者もやめる時は人それぞれ，10以上の悩みをもってやめると思います。最も最悪は病気でやめる事です。そのような事になったら，妻子の嘆きはいかばかりかと考えます。石にかじりついてでも，死ぬまで診療するのも私は良いと思っています。80歳前後になって１年か２年，早めに燃え尽きないでやめては，当初はストレスで体調を崩してしまい，毎晩のように患者さんを診療している夢を見るのもやるせないです。もっと適した廃業時期は，自分でさがして晩年を迎えるのがよいのではないでしょうか。

現在は，娘が婿と別に川崎で開業していますので，娘の技工の一部を自宅で手伝っています。大病もせずに，加齢でやめられたのは幸いです。

九州歯科大学，歯科界及び歯研の大塚豊美先生，地域社会の皆様に元気でお礼申し上げられるのは，非常に幸いだと思っています。

私の診療室

森住歯科医院

島　秀樹（大37）
大田区西糀谷１丁目（平成11年２月開業）

生まれた場所に開業できた

（１）開業前

開業前は東京都支部の16期野口靖夫先生の医院で１年間，浜松町の貿易センタービルの小林歯科医院（現院長のお父様が浜松町駅「小便小僧」の寄贈者として有名です）で９年間勤務医生活を送りました。野口先生には，卒業後間もない何の役にも立たない歯科医の私に，いろいろとご指導いただき今も感謝しております。小林歯科医院での４年目には開業の話もでたのですが，バブルがはじけ銀行融資が厳しくなり，その話は中止となりました。この小林歯科医院時代には日本歯科，東京医科歯科，神奈川歯科など他大学の先生と多く知り合うことができました。

（２）開業

開業地は「森住歯科補綴研究所」跡地です。父がこの大田区西糀谷で40年間技工所を営んできた，私の生まれた場所でもあります。最寄り駅は京急空港線糀谷です。私が小学生の頃は近くにまだまだ小さな町工場が多く，日本の高度経済成長を支えてきた町でした。バブル後の現在は，診療所の周りには多くのマンションが建っています（当然のことながら歯科医院も無数にあり，決して立地に恵まれているところではありません）。

診療所は鉄骨３階建ての１階部分です。２，３階には父母が住んでいます。約20坪の小さな診療所です。午前９時30分から午後７時ま

開業当日，国会議員の沢たまきさんとスタッフ一同のスナップ

での診療時間です。患者さんは昔からの知り合いも多く「秀樹ちゃん」と私のことを呼ぶ方もおられます。

開業当日には，なぜか「プレイガール」の沢たまき国会議員とスタッフ一同，写真を撮ることができました。公的資金を導入してくれるのでしょうか（笑）。（後日，某雑誌より「ザ・ガードマン」の藤巻潤氏との対談という話もありましたがお断りしました）。

（3）宝物？

私の医院には特別の機器はありません。（危機はありますが……）特に力を入れている治療は？と聞かれて自信を持って答えられる実力もありません。「普通のことを普通にやろう」ということを目標にしています。

私の医院の宝物は「スタッフ」です。開業時より丸2年間ずっと働いてくれています。院長のずぼらさを見事にフォローしてくれています。しっかり者で勉強熱心な歯科衛生士の井原さん，笑顔の絶えない優しい助手の大橋さん，二人とも現在の森住歯科医院にとってなくてはならない存在です（「やめる」なんて言わないでね）。彼女たちがいなくなったときが今から心配です。

森住歯科医院では，患者さんとの対話を進めるために各種の印刷物を制作しています。月1回発行の『歯のNEWS』（現在26号），リコール患者用ファイル，掲示用『DATA・データ』等々です。

（4）技工

有床義歯に関しては「森住補綴研究所」に依頼しています（うなぎの寝床のような技工室です）。開面金冠もＯＫな父の40年の技術に頼りっきりです。クラウン・ブリッジ関係は足利市の「トムデント」にお願いしています。ここの所長とは野口歯科以来のお付き合いです（野口歯科時代に彼と安居酒屋に7日間連続で飲んだのもいい思い出です）。

最後に，開業して「人」とのつながりが非常に大切だと言うことを実感しました。まだ2年ですが，スタッフその他の人たちに恵まれやってくることができました。

そしてこれからは，「誰もが信頼してくれる歯科医院」を目指して頑張っていきたいと思います。

森住歯科医院が定期的に制作し発行する印刷物

新年会

21世紀初めての新年会

――平成13年1月27日（土）於・グランドヒル市ヶ谷――

東京都支部の大川支部長の挨拶によって開会が宣言されました。同窓会本部の神代副会長の来賓のご挨拶と九州の情報をお話いただきました。

乾杯は，関東地区連合会会長渡辺道昭先生の音頭で，21世紀もますますレベルアップされるであろう，デンチャーズ（円山バンド）の伴奏とともに楽しい食事，歓談となりました。

もうビンゴ大会なしには，新年会は語れないようになりましたが，桂文楽師匠の名司会で始まりました。

学問に王道なしと同じように，ビンゴは，地道にいっぱいカードを買わなければ当たりません。例年たくさんの商品を獲得される某先生は，やっぱり我々の3倍は購入するのです。明るい表だけみてうらやましがってはいけません。陰の努力（両手両足，家族総動員，よその子供を使って）の賜なのです。終わって，両手に持ちきれない商品を抱えて，うれしそうに会場を後にされるのを拝見するのは，とてもこちらも元気がわいてくるのは小生だけでしょうか？

最後は，校歌斉唱で，東京都支部副会長播磨利彦先生の挨拶によって閉会の幕となりました。

蒔田　裕（大32）

21世紀初めての歓談風景 !!

新年会

21世紀もますますレベルアップのデンチャーズ！

当たっちゃった！

第14回東京都支部親睦ボウリング大会

団体戦、個人戦とも円山チーム制す！

―― 2000年11月25日（土）午後5時　田町ハイレーン ――

年末といえば，必ず忘年会と同じように恒例となった，ボウリング大会が，今年も田町ハイレーンで平成12年11月25日に開催されました。出席チーム16，出席人数64名と昨年に比べ残念ながら減ってしまいましたが，当日の熱気と興奮は例年に優るとも劣らないものでした。

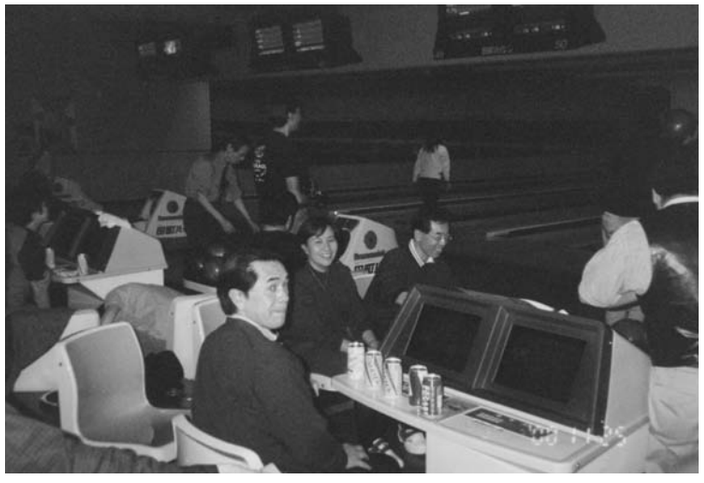
大会結果は下記の通りです。

＜団体戦＞

優　勝	円山チーム
	（円山義信　デービット　円山正子　二瓶百合江）
準優勝	選抜チーム
	（大和田智之　蒔田裕　能勢隆介　能勢剛）
3　位	丸の内センター歯科Ｂチーム
	（松岡伸弥　小池豪　林敬吾　鶴見しずか）

＜個人戦＞

優　勝	円山正子
準優勝	二瓶百合江
3　位	デービット



和やかな親睦ボウリング競技風景

団体優勝の表彰式

ボウリング大会に変わる懇親会をアンケートしました。観劇，釣り大会，クルージング，バス観光ツアー等いろいろありましたが，皆様に楽しんでいただくため，いろいろ検討したいと考えておりますので，これからもご協力お願いいたします。

第157回 東泉会ゴルフコンペ
初優勝して
H12.12.7（木）東千葉カントリークラブ

12月とは思えない程の暖かい冬の陽ざしの中，鮮やかな紅葉が目に入り爽快にプレーが出来ました。パートナーはこちらのメンバーの芦苅先生，神代先生で，緊張と畏怖の念を感じながらご一緒させていただきました。いろいろとご指導を受けながら「ウッド５番はもう少し短く持てば飛ぶ」「パターは目標線の近い所に目印を置きボールのみを見て打ちなさい」――このようなアドバイスのおかげでベストスコアが出たのではないかと思います。両先生には私が足を引っ張ったのではないかと思いつつ，心より感謝申し上げます。

プレー後の反省として，全てが良かったとは思いません。ハンディが少々手伝ったと思います。これからはアプローチパターその他いろいろと練習しなければなりません。暑い日はいや，寒い日はいや，練習嫌いの私ですが，これを機に心を入れ替えなければならないようです。今までプライベートコンペでは，ブービーメーカーかブービーばかりでした。

第157回東泉会成績表　東千葉カントリークラブ（2000年12月７日）

順位	競技者名	東OUT	東 IN	GROSS	HDCP	NET	
１位	野口あや乃	58	55	113	40	73	
２位	八ッ繁典功	41	40	81	3	78	
３位	神代　達司	48	49	97	18	79	
４位	境　　一重	51	58	109	30	79	
５位	野口　靖夫	45	38	83	3	80	
６位	齋田　宗生	50	48	98	18	80	
７位	江藤　世助	44	46	90	8	82	
８位	立石　雅子	61	63	124	40	84	
９位	境　栄一郎	47	47	94	10	84	
10位	木庭　生雄	57	53	110	25	85	
11位	大川　倬司	43	45	88	3	85	
12位	芦苅　資幸	59	57	116	30	86	
13位	小原　真和	54	53	107	18	89	
14位	立石　聡明	64	62	126	31	95	
15位	芦苅　幸子	84	76	160	40	120	

新HD　野口あや乃　40→28　　八ッ繁典功　3→2　　神代達司　　18→16

記念すべき2000年納めの東泉会で初優勝できましたことを，大変嬉しく存じます。ありがとうございました。

ここで一首

東千葉　冬の陽ざしに　紅葉の
初優勝　今日のよろこび

（野口あや乃　記）

第158回 東泉会ゴルフコンペ
21世紀初優勝は小原先生！
H13.1.18（木）鎌ヶ谷カントリークラブ

今年の冬は例年に比べ冬らしい冬で，積雪も多く気温も低い毎日です。如何お過ごしですか？

そんな中で少しは気温も高くといった願いもむなしく，肌寒く，いささか出来ればやりたくないよなといった雰囲気でした。それでも野口夫人のお友だちの古川さんをゲストに迎え，全員元気にスタートしました。

優勝の小原先生のスコアを見て欲しいのですが，ネット79，このスコアは通常のコンペなら５位くらいの成績ですが，さすがにこの寒い中でのコンペ，全員の頑張りにもかかわらずスコアが延びません。トップの小原先生からビリの江藤までの差が10ストローク，次元の低いコンペとなってしまいました。その

第158回東泉会成績表　鎌ヶ谷カントリークラブ（2001年１月18日）

順位	競技者名	東OUT	東 IN	GROSS	HDCP	NET	表彰
１位	小原　真和	50	47	97	18	79	DC
２位	山崎　亘也	42	48	90	10	80	DC
３位	野口　靖夫	42	41	83	3	80	
４位	齋田　宗生	50	48	98	18	80	NP
５位	八ッ繁典功	40	43	83	2	81	寿　BG
６位	立石　聡明	53	57	110	27	83	寿
７位	大川　倬司	46	40	86	3	83	NP
８位	立石　雅子	62	62	124	40	84	
９位	木庭　生雄	59	51	110	25	85	NP
10位	山崎　州也	48	41	89	3	86	
11位	立石　昭彦	55	50	105	18	87	NP
12位	神代　達司	51	53	104	16	88	
13位	野口あや乃	57	60	117	28	89	
14位	江藤　世助	46	52	98	8	90	

新HD　小原真和　18→12　　山崎亘也　　10→9　　野口靖夫　　3→2

東泉会

中で小原，野口，山崎，齋田の各選手はよく粘り好成績を納め上位入賞，おめでとう。小原先生は多少ハンディに救われた感がありますが，運だけでは優勝は出来ません。心よりお祝いを申し上げます。

山崎亘也先生は惜しくも１ストローク違いでの２位。ストロークの重さがずしりときます。３位の野口先生，42，41のスコアは実力通り。パッティングはもう１つだったそうですが，冬の芝は難しいからね。B.B.の綾乃さんは，前回優勝者はB.B.になるといったジンクスは生きていましたね。最後にビリの江藤は，東泉会のメンバーの方々を下から支えるのは大変です。でも時には縁の下にいて皆さんを良い気持にさせるのも必要だと思います。次回コンペの馬券は江藤から買ってください。

（江藤　記）

面白雑学

『おがくず』って、どんなくず？

のこぎりで木を切ると出てくるのが“おがくず”であるが，この“おが”というのは何なのか？　漢字では“大鋸”と書いて“おが”と読む。つまり，大鋸から出る切り屑という意味である。

支部旅行報告

２年ぶりの支部旅行が，５月19・20日に行われました。

初夏の好天にも恵まれて，河口湖畔の宿に宿泊しての，先輩・後輩，総勢21名の賑やかな楽しい旅でした。

19日（土）の夕刻，宿に集合し，河口湖越しの見事な富士山を眺めながら，ひと風呂浴びたあと，今回の最古参・小川信昭先生（県６）の楽しい挨拶のあと，酒宴となりました。

久しぶりに顔を出された先生もおられ，アルコールとともに盛り上がり，終宴の頃には，“我が席は何処か？”という具合でした。

翌20日（日）の朝，全員で豪華な朝食を終えた後，ゴルフ組と観光組とに別れ，富士山麓で，それぞれに楽しく休日を過ごしました。

ゴルフ組は，ホームコースということで江藤世助先生（大５）のお世話で，名門，富士レイクサイドカントリーにて，爽やかな新緑の高原でのプレーを満喫しました。観光組は，予約していた陶芸教室にての創作です。教官は，優しき若い女性でして，手とり足とりの指導のもと，学生時代とは違い，信じられない程の真面目な実習生となりました。焼成後に送られてくる作品が楽しみです。

まだまだすこぶる元気な先輩方が，“先が見えているので，毎年実施しろ!!”と再三，脅しますので，喜んで，来年も行う予定です。

今年，参加の先生方はもとより，残念ながら不参加の先生方も，来年は，よりたくさん集まり，さらに盛大に……と願っております。

よろしく御協力の程，お願い致します。

好評だった陶芸教室

【城南地区ブロック会】
《世田谷，目黒，渋谷，神奈川の一部，狛江》

４月７日，渋谷エクセルホテル東急25階の日本料理旬彩で，とても久しぶり（円山先生曰く25年ぶり）に，ブロック会が開催されました。県１回の久保正明先生以下14人で，自己紹介から始まり，小倉時代のこと，近況報告と，幸い料理がゆっくりでてきたので，３時間たっぷり懇談致しました。

久保先生は，２年ほど前にお仕事から引退されたそうですが，「もう今年いっぱいでやめるぞー」と患者さんに案内を出されたところ，患者さんが押し掛けられて，近年にない増収になったとおっしゃるのを聞いて，私が同じことをやったらどうだろうなとの余計な想像をしてしまいました。

円山先生は，25年前のブロック会がきっかけで，現在の開業場所を紹介されたということで，とても思い入れがある様子でした。

少し残念だったのが，一番若い先生が，厄明けの43歳の蒔田と家田（ともに大32期）で，もう少し若手の出席が望まれたブロック会でした。

ブロック会の収穫といえば，初めてお会いできた先生がいらしたことでしたが，これからも継続的に開催すれば，同窓会活動の活性化につながると感じた１日でした。

蒔田　裕（大32）

【多摩地区西部ブロック会】
《国立，立川，東村山，東大和，他》

平成13年２月３日（土），多摩ブロック発足会が京王プラザホテル八王子にて開催されました。多摩地区の西部にあたる八王子，立川，多摩，他で開業されている先生方の出席があり，ブロック長の高野眞太郎先生の挨拶によって開会されました。支部長の大川倬司先生，理事の末森多賀生先生，米山和伸先生も御出席され，会を盛り上げていただきました。大10期の山崎亘也先生から43期の宍戸明彦先生まで11人，学生時代の懐かしい下宿生活から開業して現在に至るまでの苦労話や家族の話題に花が咲き，たいへん楽しい団欒の場となりました。

今回出席していただいた日野市開業の宍戸先生は同窓会には未加入でしたが，ブロック会は同窓会の雰囲気を知ってもらうには良い機会と思われます。ブロック会を通じて会員の親睦をはかり，さらには会員の増加につながればと期待しています。

戸坂清二（大33）

告知板

＜新入会員＞

○山下喜久先生（大30）

勤務先：〒101-8310
千代田区神田駿河台1-8-13
日本大学歯学部衛生学教室
TEL 03-3219-8118
FAX 03-3219-8138

自　宅：〒162-0056
新宿区若松6-7　ディロス若松303
TEL&FAX 03-3353-8786

○松岡伸弥先生（大48）

勤務先：〒100-0005
千代田区丸の内1-16-1
丸ノ内センタービル18F
丸ノ内センタービル歯科
TEL&FAX 03-3216-9750

自　宅：〒284-0001
千葉県四街道市大日540-29
TEL&FAX 043-421-5097

＜総会の予定＞

日　時：平成13年７月14日（土）
15：30～

場　所：ホテルグランドヒル市ヶ谷
東京都総会・関東地区連総会
講演　永山　久夫先生
「知って得な歯医者のためのたべもの日本史」

＜会費納入の件＞

高齢者会員	10名
70～74歳会員	8名
勤務医会員	14名
一般会員	87名
長期疾病会員	1名
合　計	120名

すべての会員の皆様からの12年度会費を徴収完了いたしました。ご協力ありがとうございました。

会務報告

＜平成12年＞

・11月14日（火）　ブロック会代表者会議
ブロック会の進め方について
・11月14日（火）　第４回理事会
ボウリング大会役割分担について
・11月17日（金）　第１回編集会議
会誌73号原稿持ち寄り、割付
・11月25日（土）　ボウリング大会
63名参加
・12月５日（火）　第２回編集会議
会誌73号の１校
・12月11日（月）　第３回編集会議
会誌73号の２校
・12月15日（金）　第５回理事会
新年会について
学術講演会について
ブロック会実施内容について
・12月26日（火）　第４回編集会議
会誌73号の発送

＜平成13年＞

・１月16日（火）　第６回理事会
新年会役割分担について
学術講演会について
会員旅行開催について
・１月27日（土）　新年会
92名参加
・２月13日（火）　第７回理事会
学術講演役割分担について
・２月27日（火）　第１回編集委員会
会誌74号の企画編集
・３月３日（土）　学術講演会
62名参加
・３月13日（火）　第８回理事会
ブロック会開催状況について
・４月13日（金）　第２回編集会議
会誌74号の原稿役割分担
・４月17日（火）　第９回理事会
総会講師他について
・５月15日（火）　第10回理事会
総会について
・５月17日（金）　第３回編集会議
会誌74号の原稿持ち寄り
・６月５日（火）　第４回編集会議
会誌74号の初校
・６月12日（火）　第11回理事会
総会について
ブロック会について

編集後記

良い酒にありつく日は滅多にないと思う。先日，盛岡で飲んだ“どぶろく”は，久しぶりに旨かった。

後輩の松岡先生と２人で知的障害児のラグビー選手のマウスガード（以下ＭＧ）作りに出張した。永らくラグビーに関わっていると，嬉しい仕事もある。盛岡市郊外の緑生園という施設に出向き，まず朝礼で紹介されＭＧの効用を説明し，30人近くのメンバーの上顎の印象を採り，石こう模型を作るのが今回の目的である。

突然に奇声をあげたりもするが，健常者より規律正しく爽やかな少年達は，印象の時，嘔吐した仲間を，躊躇することなく拭いて助け合う。苦しかったろうに，終わったら深々と頭を下げてくれる。都会のゴミみたいな自分は，涙が出そうになった。

夜，驚くばかりの情熱で指導している園長・先生達に，御馳走になり熱い話を聞いた後，松岡君と２人で名物の“どぶろく”を，静かに飲んだのである。

今年の夏，彼らは障害児のチームとして，全国で初めて，ラグビーの本場・ニュージーランドに遠征する。

（外山　泉）

ＩＴ革命，コンピューターにより，理事会，編集委員会と会合などしなくても，全て互いの持っているコンピューターでサイトで事はすむ時代になった。アナログ人間にはなかなか入り込めないし，人間関係に寒さを感じる。さまざまな人々との出会いが，話し合いが，飲食し合うことが，自らの器を大きくもするような気がする。私など一つだけ心がけていることに，人に多く会うということなのだが，メールで，インターネットで会うということは，多くの人に会わなくてすむことになる。会合で集まることによって，そこに互いの意見を話し合い，考える，その人の気持ちもわかるものなのだけど，「賢者は愚者に学び，愚者は賢者に学ばず」という言葉があるがそれも多くの人と関わり合って多くのことを学び，自分を高めていけるものだと思うけど。

（播磨利彦）

大川執行部も任期が余すところわずかとなった。当節，地区歯科医師会の常任理事との兼任で，十分に同窓会理事会への活動貢献は出来ないかも知れない，というのが言い訳の一つであったが，地区の役員が任期満了となった後も，大きな貢献がない事が反省される。

と同時に，若い年代（と言っても40代であるが…）の理事の行動力に『おんぶにだっこ』状態を感じずにはいられない。自分自身，40代の頃にあれ程の行動力や「ガッツ」があったかどうか記憶にないが，今50代後半となっては，『反省はすれども動かず』という感じで，行動する意気に欠けている。何事も面倒がらずに行動できるのは，40代なのか…。その意味からすれば“働き盛り”というのは40代なのであろう。

“青春時代”という時期は誰にでもある。しかし，その時は“自分は今青春している”という自覚はない。老いて“あっ，あれは青春だったな！”と振り返って気がつく。歌の文句にもあった。『青春時代の夢なんて，後からつくづく想うもの…』

この３年間，若い年代の理事の方々と一緒に同窓会運営をやってきたが，つくづく感じた，『理事は若い人達に任せるに限る‼』

次期執行部の人選はわからぬが，理事の選出にあっては，若い層の人達に頑張ってもらう事こそ同窓会の活性に繋がる，と思う。

これが今日まで20年余にわたって執行部に係わって得た結論である。執行部の交代が，ただ三役の交代だけでは活性に繋がらない事がある。どんどんと若い世代を次から次に理事に登用していくことが，同窓会を理解してもらうためにも重要であろう。

（円山義信）

URL（HPのアドレス）の交換で，知り合いの方に喜ばれたりすると，なるほど，コンピューターも，おたくみたいな趣味ではないのかとも思う。

閑話３題。Listen RadioというHPがある。有線みたいに音楽だけをweb上で流し，チャンネルは50を越える。スキップという機能があり，好きでもない曲は，聞かなくても済む。この点，有線よりはるかに優れ，延々とジュークボックスみたいに流せる。

専用のソフトをダウンロードすれば，回線も途中で切れない。

Live Camera（Earth Cam）というHPがある。コンビニの防犯カメラみたいに，web上で実況の中継をする。Times Squareがお勧めで，横断歩道を渡る人と，アーケードを歩く人の姿，他がある。診療所の窓から見える景色とどこが違うのかともいえるが，夜と昼が明らかに違う。顔立ちはわかるが，もっと，人の顔の細部の表情も見えるように，最近の1.7G,cpuを買おうかとも思えば，仕事にも熱が入る。

ESPNというHPがあり，MLBの試合のスコアボードをライブで流している。

イチローの連続安打記録がどうなったのか，自分が気になってしょうがないのも変な話だが，夜のニュースステーションで見れば済むことでもある。翌日の新聞でもいいではないか。しかし，昼前にはわかるのである。結果を知れば気分は楽になり，細々とした目の前のことに，とりかかれる。

３題について，検索でも楽にわかると思います。また，ご連絡いただければ，URLを添付で送ります。

メールアドレス：

BKC13AAB@wamnet.wam.go.jp

（八木正孝）

会誌編集にあたり，原稿依頼に快くお引き受けくださった先生方に，心よりお礼申し上

げます。また何か，「こんな企画はどうか」とか「ぜひ書かせてくれ」等ございましたら，総会，新年会等で，ご教示いただきたいと思います。ありがとうございました。

（家田隆弘）

最近インターネットバンキング（以下IB）に凝っています。ご存じの通り，インターネットで振り込んだり，定期預金をつくったり，外貨預金ができるのです。私はもっぱら振り込みですが，City bank（以下CB）は，事前に登録しておけば，日本のどの銀行に振り込んでも，振り込み手数料がかかりません。月2000円の口座管理料も30万円の定期等があれば，かかりません。CBの支店がなくても，郵便局から，CBに振り込むのに手数料105円（100万円まで）しかかからないので，結構重宝しています。

歯科材料店，技工士，歯科医師会の部会費，従業員の給料などの振り込みに威力を発しています。欠点といえば，事前振り込みのないところに振り込むとき（CBはだめ）に，全角かな，半角英数字で，入力するのが混じっていたり，（株）は×で，カ）でないと入力できない（IB）があったりして，なかなか入力できなくて，少しいらいらしてしまう事と，コンピューターが故障するともちろん×です。

でも好きな時間に振り込みできるので，これからの銀行取り引きの一つの形態として定着するのではないかなと思っています。

大手都市銀行も（IB）がありますが，まだ同銀行同支店のみ振り込み手数料が無料が主流で，みずほグループのみ，富士，第一勧銀の全ての支店間は振り込み手数料は無料（富士ファーストクラブに入っていれば）です。

いずれ，手数料は無料になるかもしれませんが，さすがアメリカの銀行は消費者の気持ちをつかむのがうまいなーと思いました。

サー私達もどうやって患者さんの気持ちをつかむか，考える時期に来ているのではないかと思う今日この頃です。

（蒔田　裕）

近頃，近所にまた新たな開業ブームがおとずれています。この勢いでいけば，以前に考えられていたより更に早く歯科業界の本当の意味での氷河期が訪れるでしょう。

あと20年以上は歯医者をやるのでしょうが，20年後はどうなっているのでしょうか。

（假屋隆彦）

2002年のサッカーワールドカップのチケットを申し込んだ。先日のニュースによると，平均200倍の高倍率だそうである。私の申し込んだ決勝戦のチケットは国内販売分が10000席に満たないそうで，横浜国際競技場の70000余席の収容量に比べると，地元分の席が少ない気がする。

日本はサッカー後進国だからしかたがないという声も聞こえるが，それにしても，あまりに少ない配分ではないだろうか。しかも，とてつもなく高い価格で，決勝のよい席だと（とはいっても1/4くらいはその席なのであるが）1席あたり，84000円である。

気軽に地元開催のワールドカップを見物に行くという感覚からは程遠い世界である。無謀にも私はその席を2席申し込んだのであるが，6月中には発表があるそうなので，この会報が会員の手元に届くころには，結果がわかっているはずである。気持ち的には，当たってほしい気持ちが半分，財布の中をみると，当たってほしくない気持ちも半分の今日この頃である。

終わりに，編集の仕事に初めて参加させて頂いて3年たち，当初，戸惑うことや，怒られることも多かったのであるが，やさしい諸先生方に支えられ，3年の間に6冊もの会報にかかわることができた。1年間の支部のイベントに参加されることのない会員の先生方が半分以上という現実をみると，この会報のもつ意味は非常に大きく感じられる。その意味では，もっともっと充実した会報になってほしいと願うばかりである。

3年間，120余名の先生方，ご協力ありがとうございました。

（能勢隆介）

＜編集委員＞
委員長　　外山　　泉
委　員　　播磨　利彦
　　円山　義信
　　八木　正孝
　　小原　真和
　　家田　隆弘
　　蒔田　　裕
　　假屋　隆彦
　　能勢　隆介

第74号　九州歯科大学同窓会
東京都支部会誌

発行日　　平成13年6月26日
発行人　　大川　倬司
発行所　　〒111-0035
　　東京都台東区西浅草2-14-15
　　九歯大同窓会東京都支部
　　電話　(03) 3843-9928